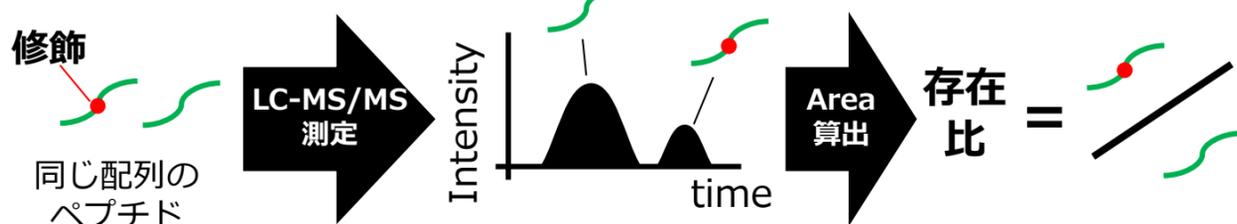


ペプチドマップで検出したペプチドごとに翻訳後修飾の有無や割合を解析することが可能です

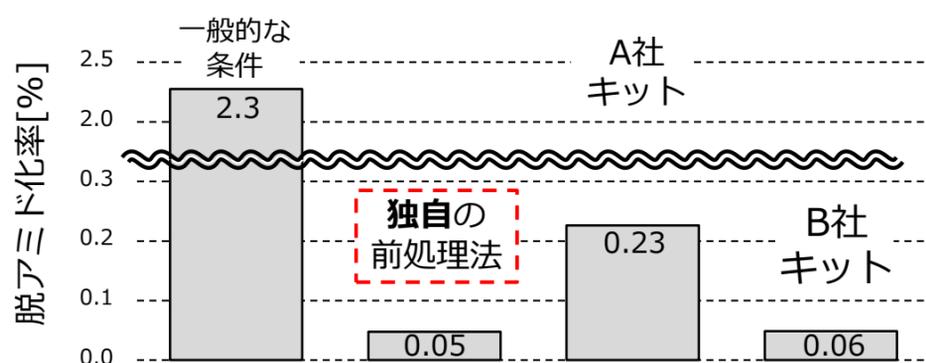


受託実績のある修飾の例

- 脱アミド化 (Asn, Gln)
- 酸化 (Met, Trp)
- N末端のアセチル化
- N末端のピログルタミル化

豊富な前処理技術 (例: 脱アミド化解析)

Asnを含むペプチドについて脱アミド化率を比較



- 市販のキットと同等以上に前処理中の**人為的な脱アミド化を抑制** (試料**本来の情報**に近い)
- **様々な酵素**での消化が利用可能 (配列によらず解析可能) ※他社キットでは酵素が限定される

高機能な装置による異性体の識別



Orbitrap Fusion Lumos (FT-MS)
(ThermoFisher Scientific)
ETD搭載



ZenoTOF 7600 (Q-TOF)
(AB SCIEX)
EAD搭載

衝突誘起解離(CID)法を用いる質量分析計では識別できないAspとiso-Aspなどの識別が可能

ご報告の内容

基本的な内容

- ペプチドマップ (UVクロマトグラム、トータルイオンクロマトグラム)
- カバレッジマップ (自動解析)
- 修飾されたペプチドの位置、アミノ酸配列

オプション

- 修飾されたペプチドの抽出イオンクロマトグラム及びMS/MSスペクトル
- 修飾されたペプチドを含むピークの詳細解析 (自動解析又はマニュアル解析)
- 修飾されたペプチドの存在比 (自動解析又はマニュアル解析、UV又はMSのピーク面積に基づく)

分析に必要な情報

- 試料数
- 分子量
- アミノ酸配列
- タンパク質の修飾の種類、位置
- 試料の形態 (粉末、液体など)
- 試料の溶媒 (又は可溶性溶媒)
- 試料に含まれる分析対象の純度
- タンパク質濃度

お問い合わせ先: 株式会社 東レリサーチセンター (URL: <https://www.toray-research.co.jp/>)

お問い合わせフォーム: <https://www.toray-research.co.jp/contact/>

